

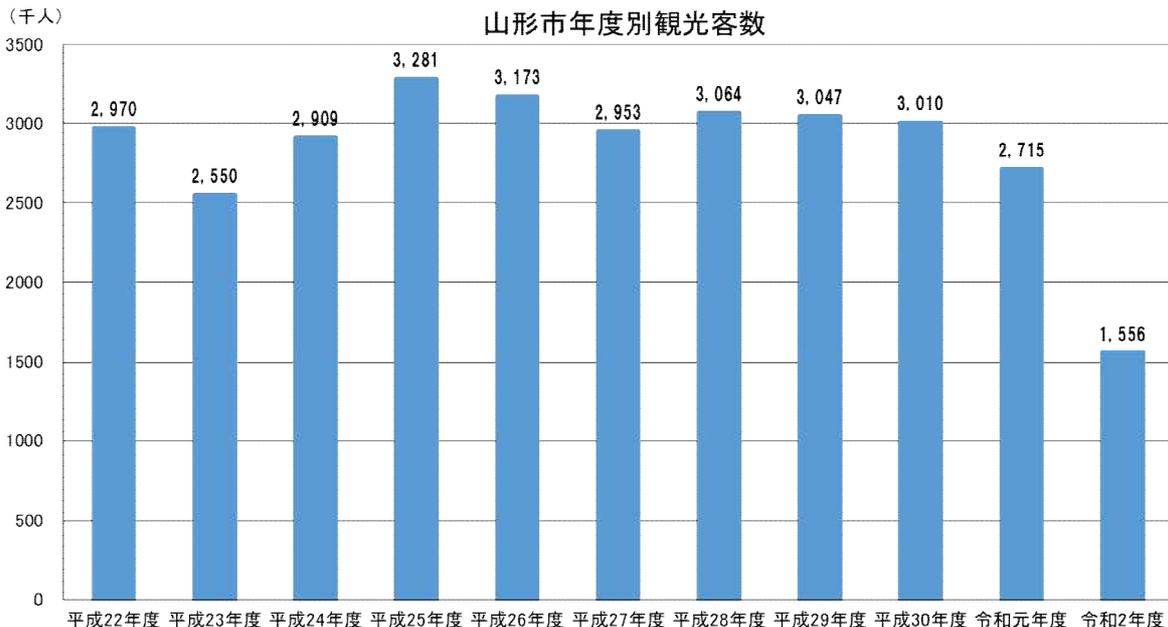
資料編

1. 本市の特性及び歩行者を取り巻く現状

1-1 観光入込客等の状況

山形市への観光客入込数は、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響で平成23年度に落ち込みが見られたものの、平成23年度から平成25年度にかけて増加傾向に転じている。その後、平成27年4月から6月にかけて発表された蔵王山の火口周辺警報により、平成27年度はやや入込数が落ち込んだものの、平成28年度には回復の動きが見られている。

個別の観光地では、蔵王においてはスキー場利用客の減少傾向が続いていることから微減傾向となっていることや、山寺においては平成25年に立石寺の御開帳が実施されたため大きな伸びが見られたものの、全般的に横ばい傾向が続いている。一方、市街地においては山形まるごと館紅の蔵、山形まなび館、七日町御殿堰などで微増傾向が続いている。



出典：山形市観光戦略課

1-2 通学路の指定状況

山形市の通学路の指定状況は下図の通りである。

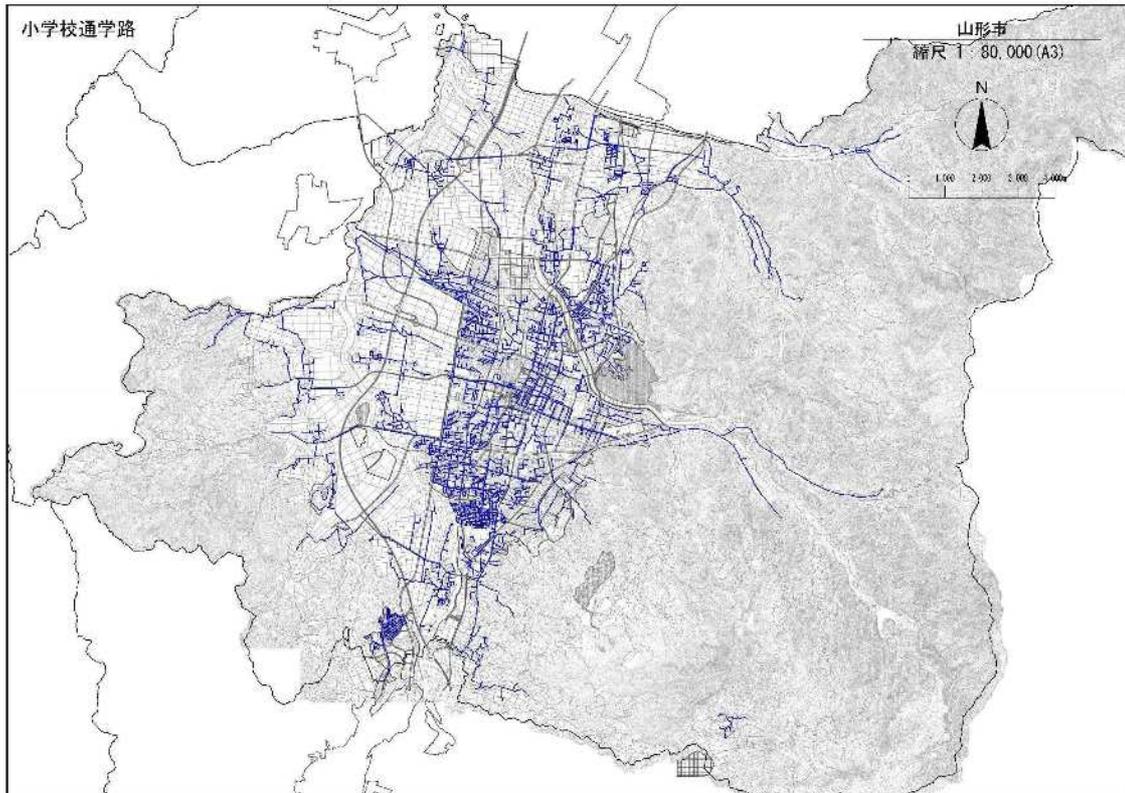


図-1 小学校通学路

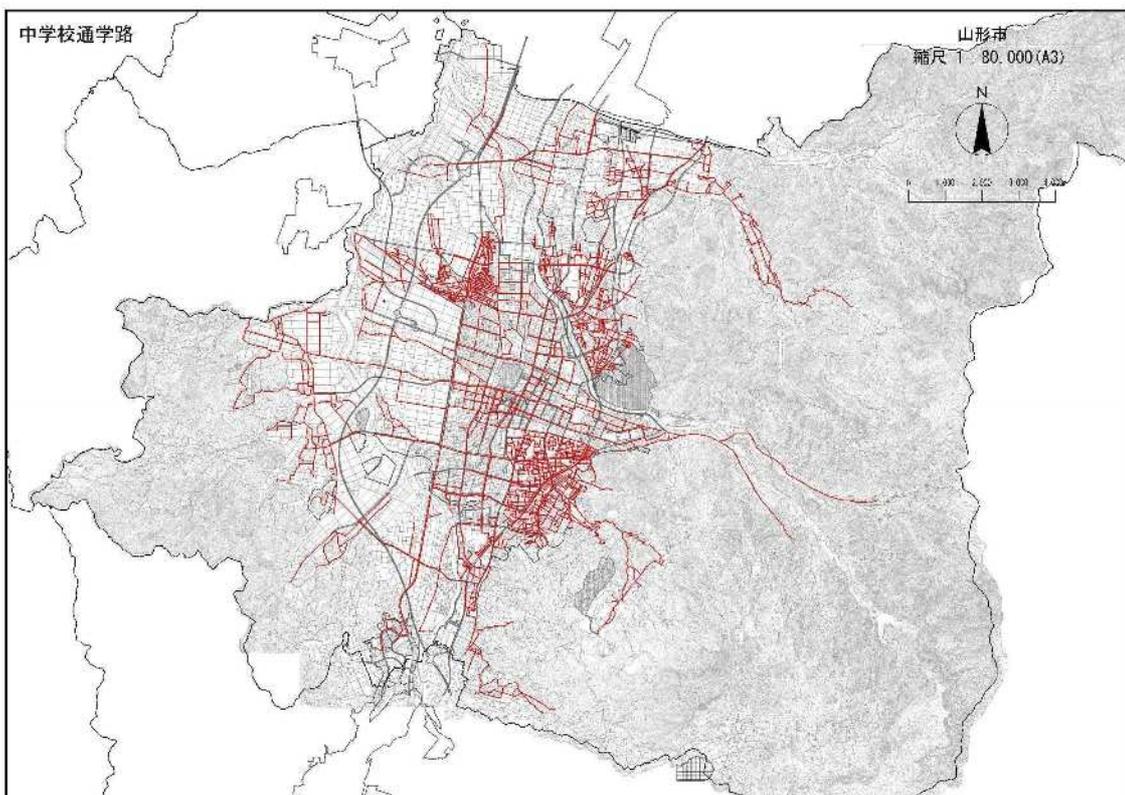
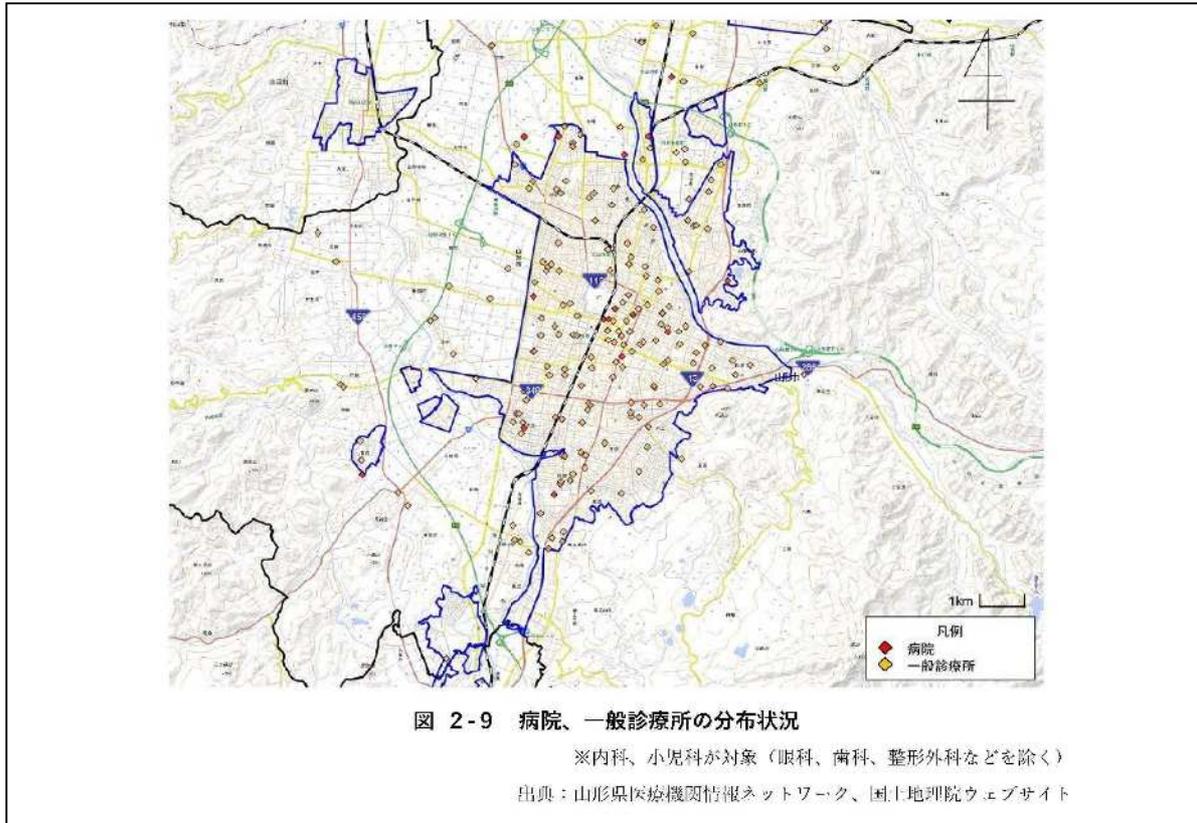


図-2 中学校通学路

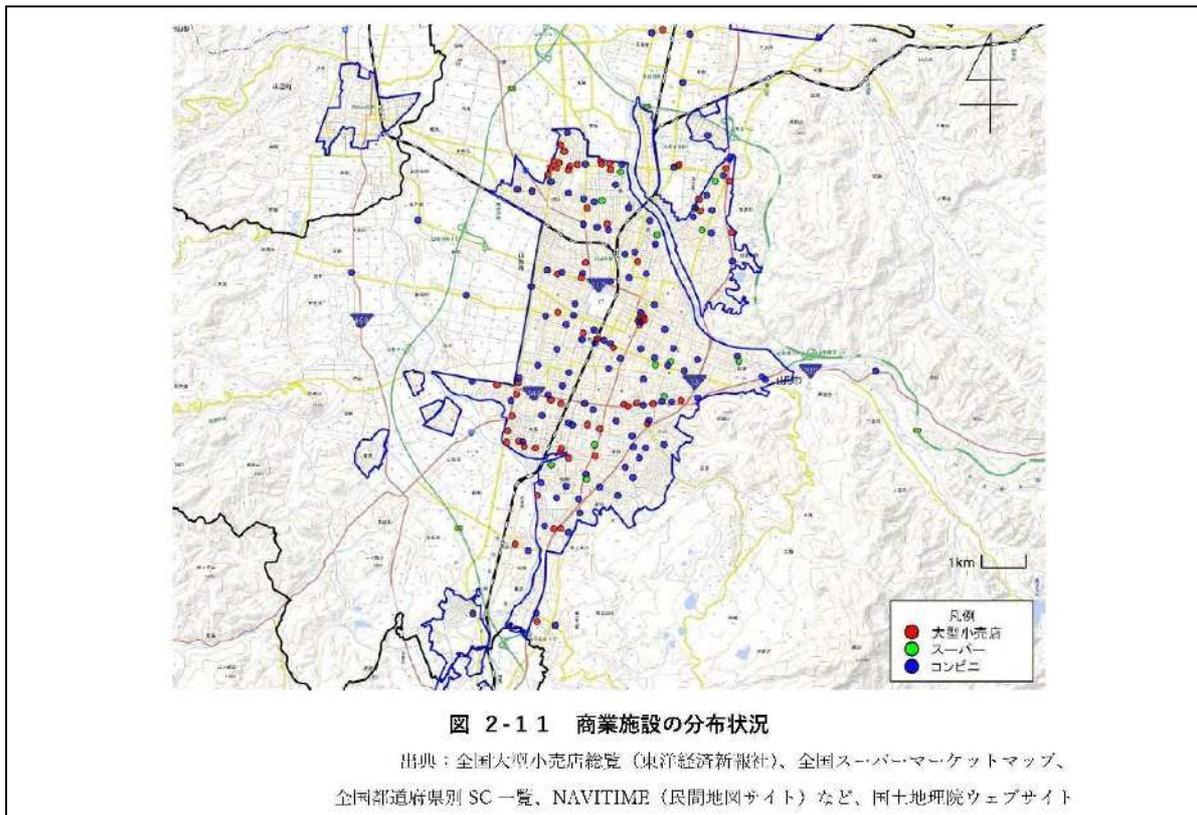
1-3 地域資源

(1) 病院、一般診療所の立地状況



出典：山形市立地適正化計画

(2) 商業施設の立地状況



出典：山形市立地適正化計画

(3) 公共公益施設（各学校含む）の立地状況

a) 教育関連施設

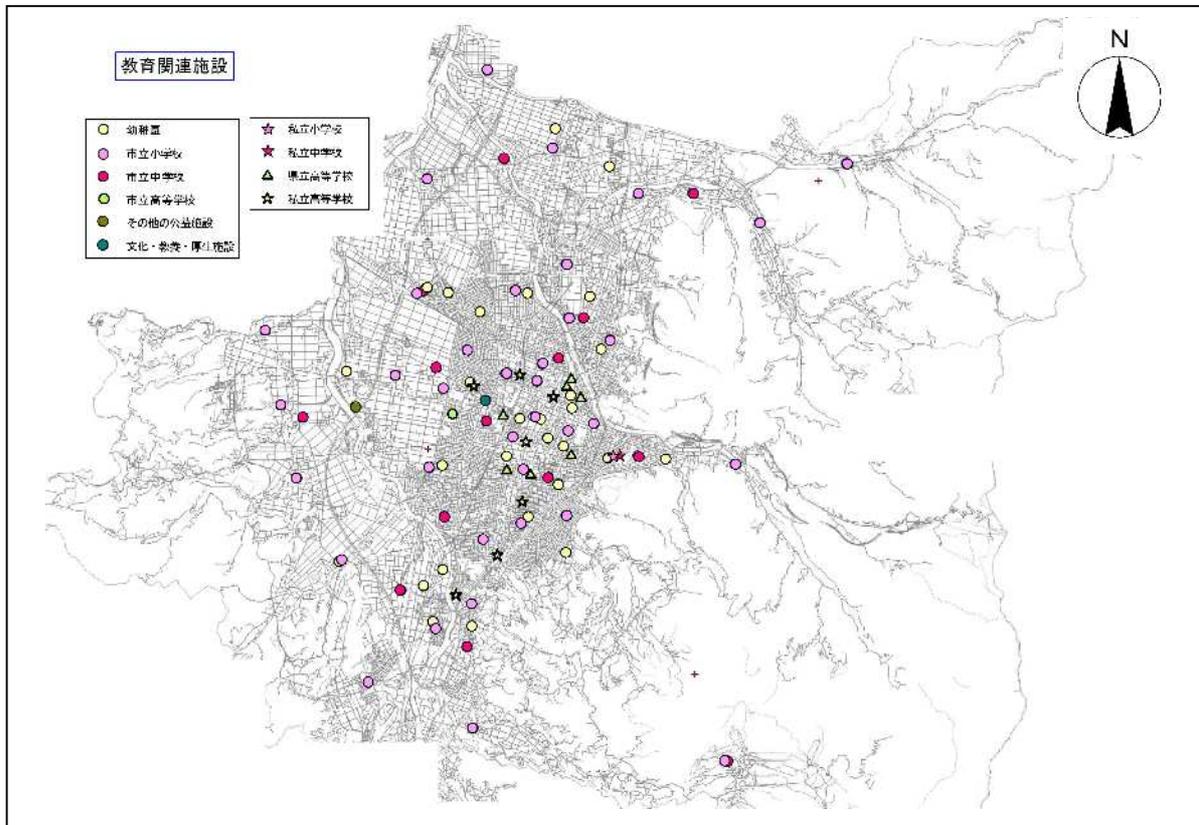


図-3 教育関連施設配置図

b) 子育て支援施設

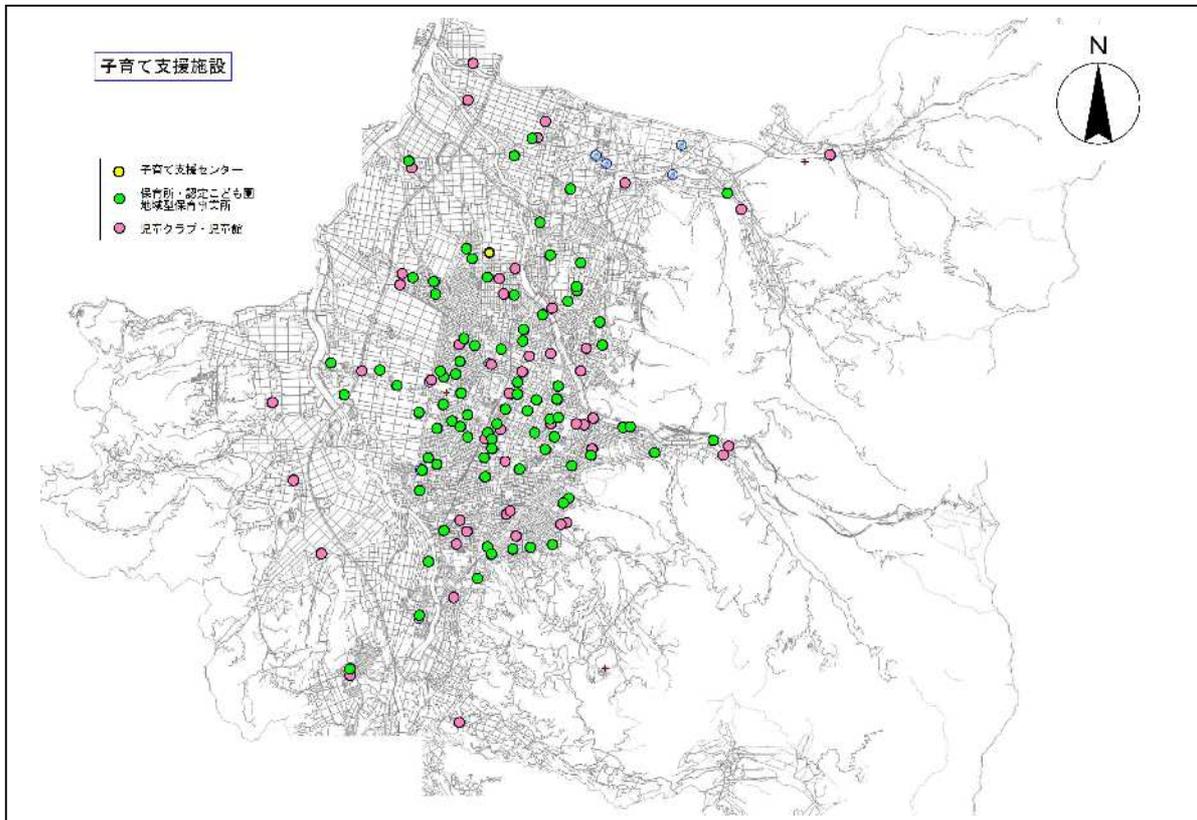


図-4 子育て支援施設配置図

c) 文化・スポーツ関連施設

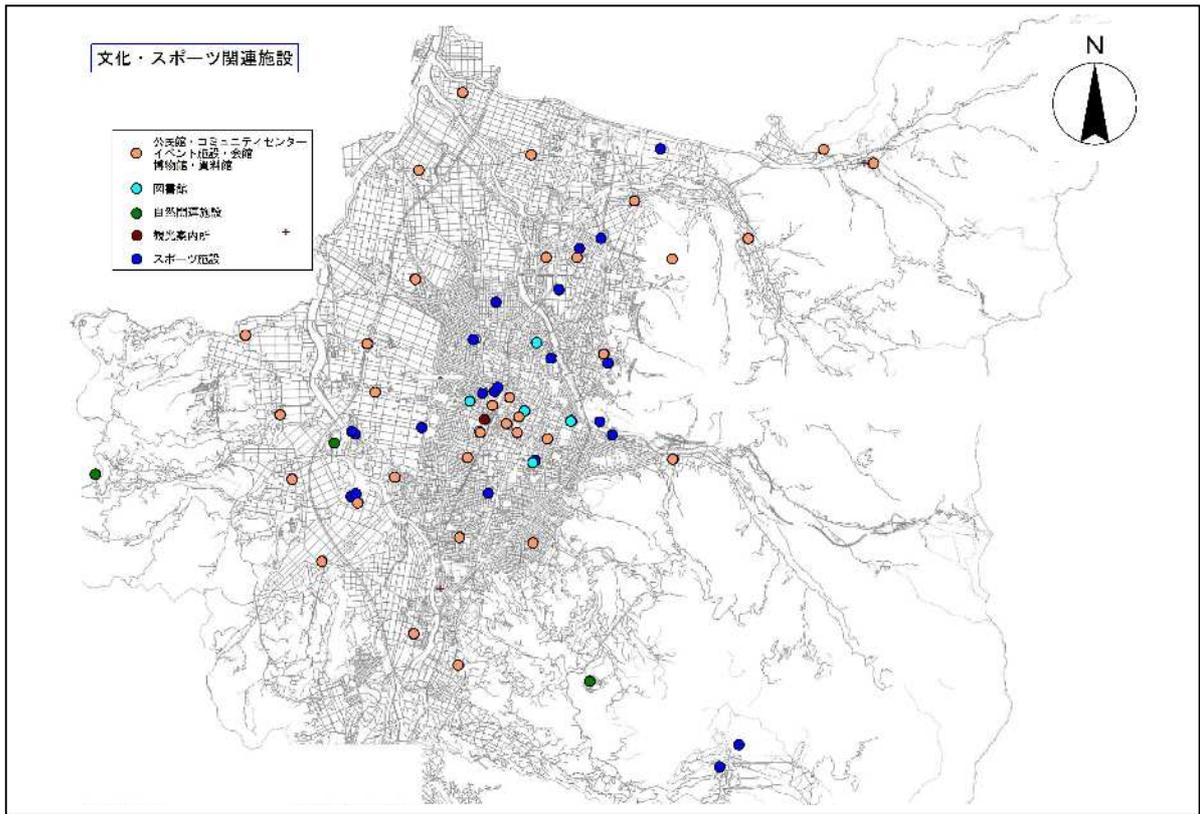
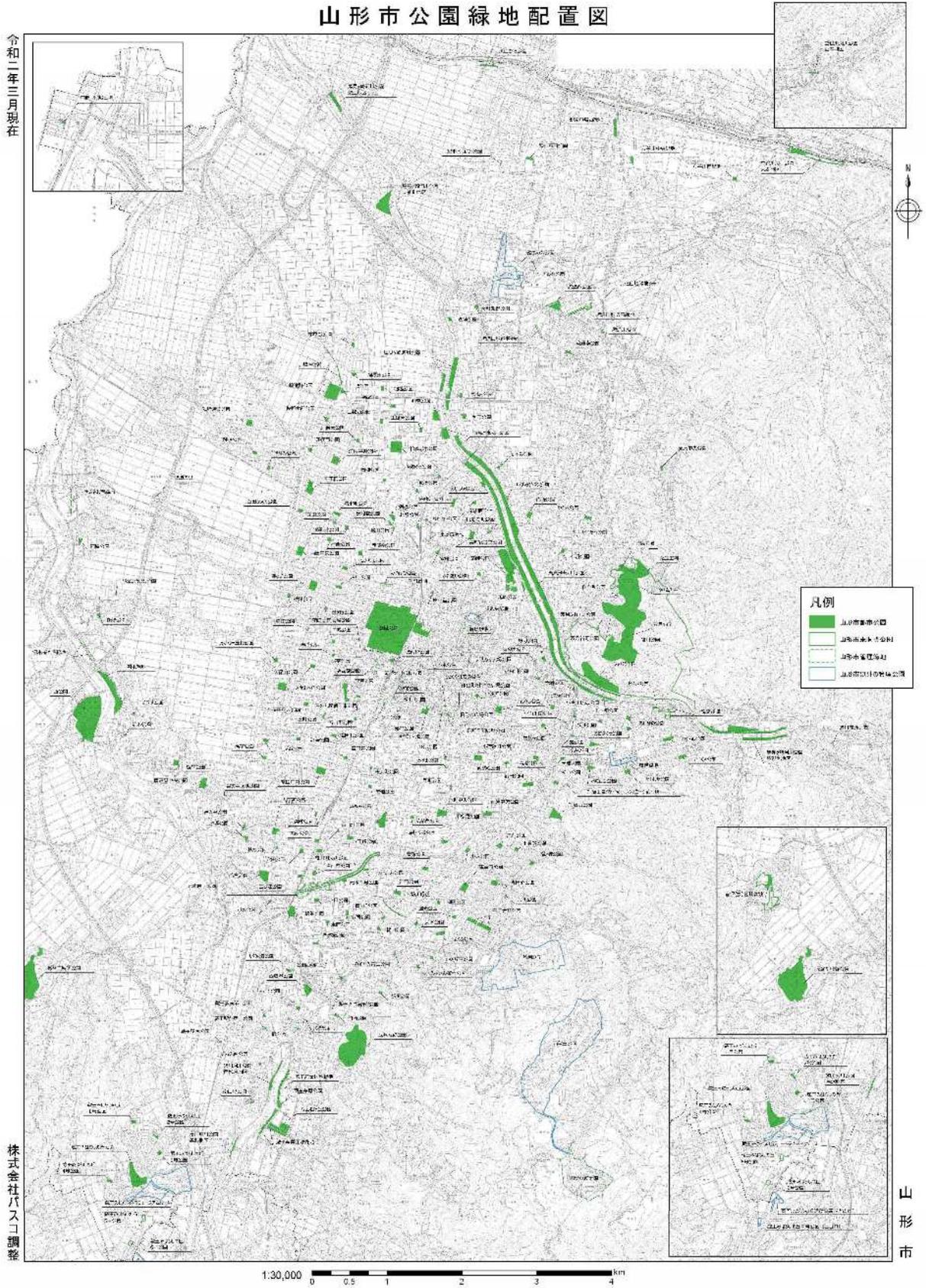


図-5 文化・スポーツ施設配置図

(4) 公園・緑地の整備状況

市内の公園緑地の整備状況は下図の通りである。

山形市公園緑地配置図



出典：山形市資料

山形市において、健康増進器具（遊具）が配置されている公園は下表の通りである。

（参考資料）

○山形市が管理している都市公園数：229公園（令和2年3月末現在）

○現在、健康増進器具（健康遊具）が設置されている公園

22公園 57基

	公園名	場所	施工者	健康遊具の種類
1	本屋敷公園	嶋北	区画整理事業	①背伸ばしベンチ ②バランス円盤 ③サイクルステーション
2	河原田公園	嶋北	"	①腹筋台 ②鉄棒 ③背伸ばしステーション
3	権の木前公園	嶋南	"	①バランス円盤 ②ステップバランス
4	ニッ塚公園	吉原	"	①健康歩道遊具
5	城南橋公園	城南町	"	①健康歩道遊具 ②背伸ばしステーション
6	蔵王美原公園	蔵王 松ヶ丘	"	①腹筋&背伸ばしベンチ、 ②アーチラダー ③ウッドクライム ④ジャンピングボード&ボール ⑤懸垂平行棒 ⑥パネ付平行棒
7	西公園	大字門伝	事業団施工	①腹筋&背伸ばしベンチ ②アーチラダー ③パラレルスロープ ④ツイストツール
8	諏訪町さわやか広場	十日町	区画整理事業	①健康歩道遊具
9	坂巻公園	桜田西	"	①背伸ばしベンチ ②あん馬 ③あん馬ベンチ ④平均台
10	三つ江公園	若宮	"	①腹筋ベンチ
11	沼木公園	沼木	公園緑地課	①腹筋台 ②背伸ばしベンチ
12	芸工大前公園	上桜田	区画整理事業	①平均台
13	卸売市場西緑地	濠山	公園緑地課	①腹筋台 ②背伸ばしベンチ
14	立谷川南緑地	立谷川	"	①腹筋台 ②背伸ばしベンチ
15	蔵王産業団地緑地	蔵王 松ヶ丘	"	①腹筋ベンチ ②背伸ばしベンチ
16	蔵王みはらしの丘 4号公園 (H25.4完成)	蔵王みはらしの丘	"	①背伸ばしベンチ ②ストレッチチェアー ③ジャンプステップ ④ジャンプステップ ⑤ツイストバー ⑥座位体前屈 ⑦ぶら下がり
17	嶋遺跡公園	嶋北	"	①背伸ばしベンチ ②長座位前屈&上体そらし ③ストレッチチェアー ④ツイストバー ⑤ジャンプタッチ ⑥ウェーブ平行棒 ⑦ぶら下がり ⑧平均台
18	清住公園	清住町	"	①ぶら下がり
19	美畑公園	美畑町	"	①平均台
20	馬畔公園	薬師町二丁目	"	①ふみいたストレッチ ②背伸ばしベンチ
21	本面公園	桜田西二丁目	"	①背伸ばしベンチ
22	榎葉の木公園	榎町三丁目	"	①ウォールクライム (R2年6月中旬設置予定)

出典：山形市資料

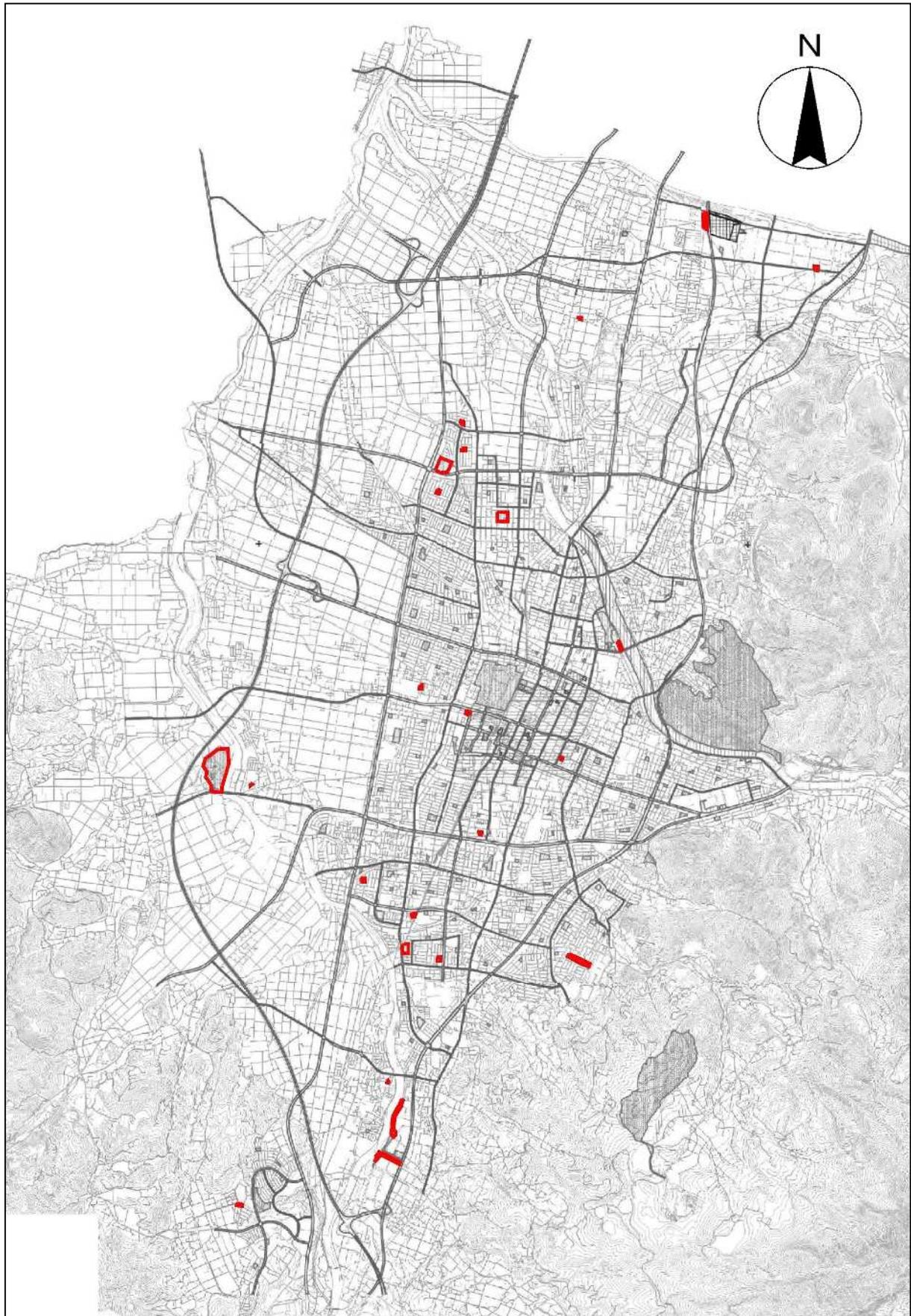


図-6 健康遊具設置公園位置図

2. 市民アンケート調査

(1) 調査の概要

1) 実施期間

発送：令和3年4月12日（月） ～ 投函期限：4月30日（金）

2) 調査対象者

調査対象：住民基本台帳登録市民（15～79歳）のうち無作為抽出1,500人

3) 調査票の配布・回収方法

配布：郵送配布

回収：郵送回収

4) 回収票数

発送票数：1,500票

回収票数：602票 回収率：40.1%

(2) 調査結果（単純集計）

* 四捨五入の関係上、合計が 100%にならない場合があります。

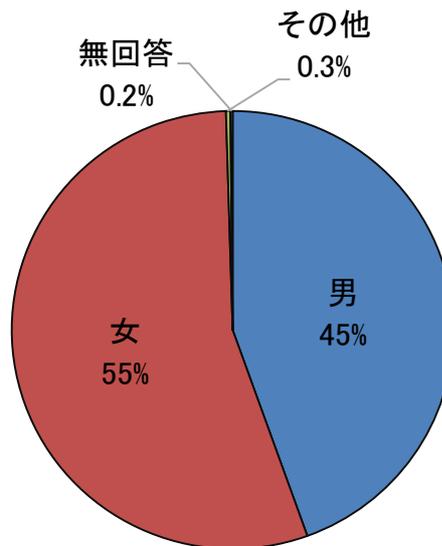
【問 1】アンケートの回答者について

1) 性別について

・性別は、「男」が 45%、「女」が 55%となっている。

(単位:人)

選択項目	人数
男	268
女	331
その他	2
無回答	1
計	602

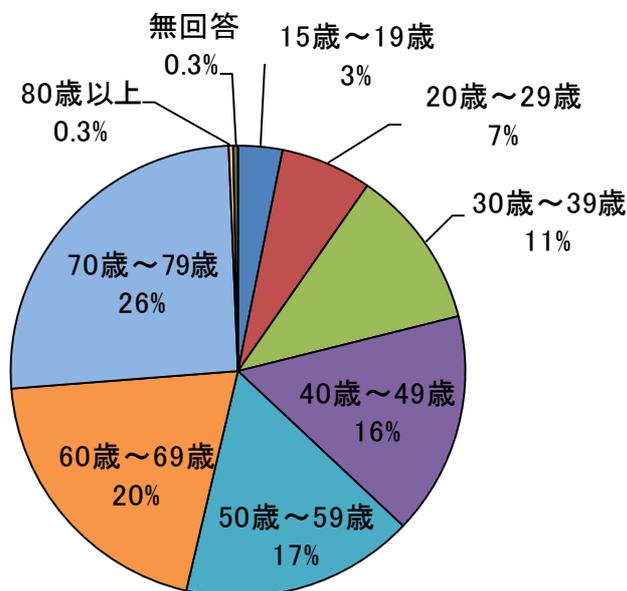


2) 年齢について

・年齢構成は、「70～79 歳」が 26%と最も多く、次いで、「60～69 歳」が 20%となっている。

(単位:人)

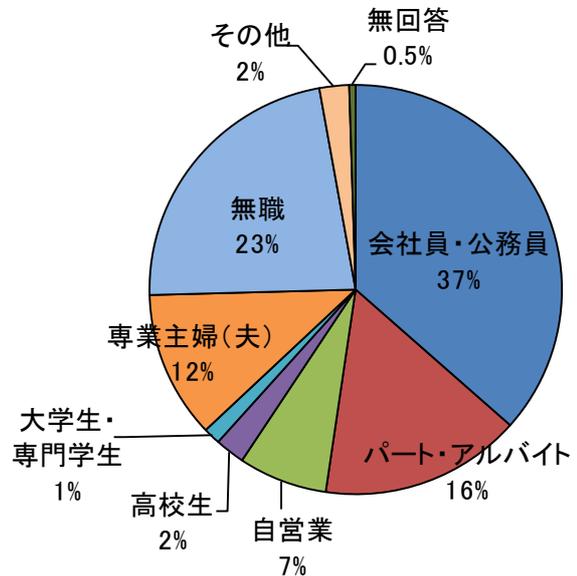
選択項目	人数
15 歳～19 歳	19
20 歳～29 歳	39
30 歳～39 歳	69
40 歳～49 歳	96
50 歳～59 歳	100
60 歳～69 歳	121
70 歳～79 歳	154
80 歳以上	2
無回答	2
計	602



3) 職業について

・職業は、「会社員・公務員」が 37%と最も多く、次いで「無職」が 23%となっている。

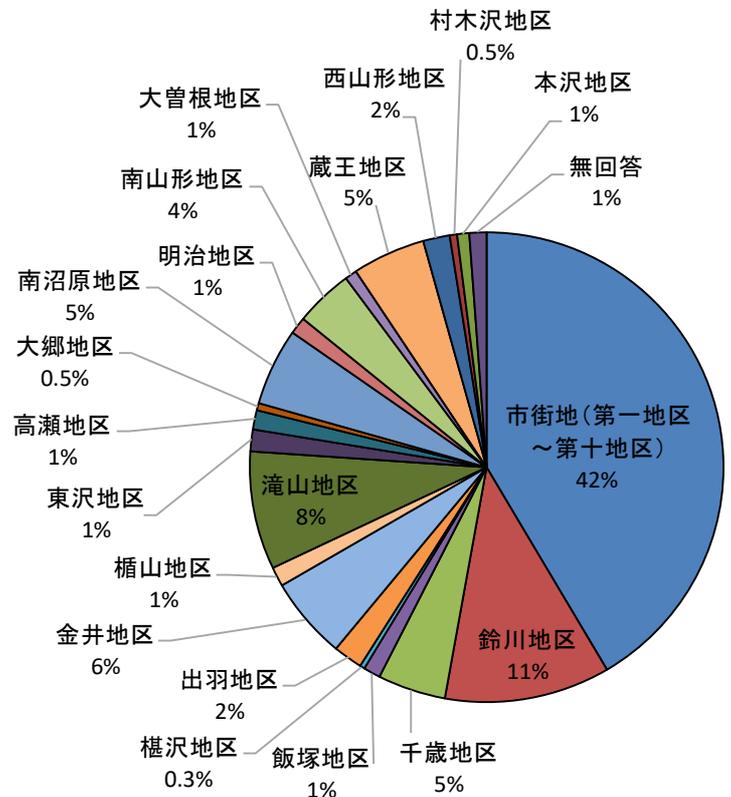
選択項目	人数
会社員・公務員	220
パート・アルバイト	95
自営業	42
高校生	14
大学生・専門学生	8
専業主婦(夫)	70
無職	136
その他	14
無回答	3
計	602



4) 居住地区について

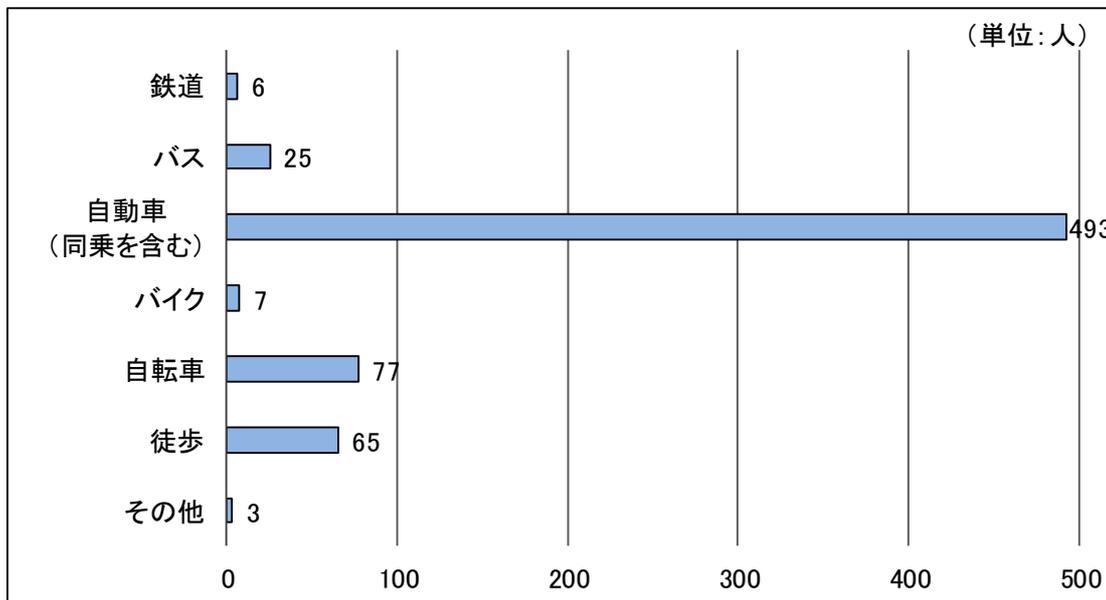
・居住区域は、「市街地(第一地区～第十地区)」が 42%と最も多く、次いで「鈴川地区」が 11%となっている。

選択項目	人数
市街地 (第一地区～第十地区)	250
鈴川地区	68
千歳地区	28
飯塚地区	7
榎沢地区	2
出羽地区	12
金井地区	34
楯山地区	8
滝山地区	49
東沢地区	9
高瀬地区	8
大郷地区	3
南沼原地区	32
明治地区	7
南山形地区	24
大曽根地区	5
山寺地区	0
蔵王地区	30
西山形地区	11
村木沢地区	3
本沢地区	5
無回答	7
計	602



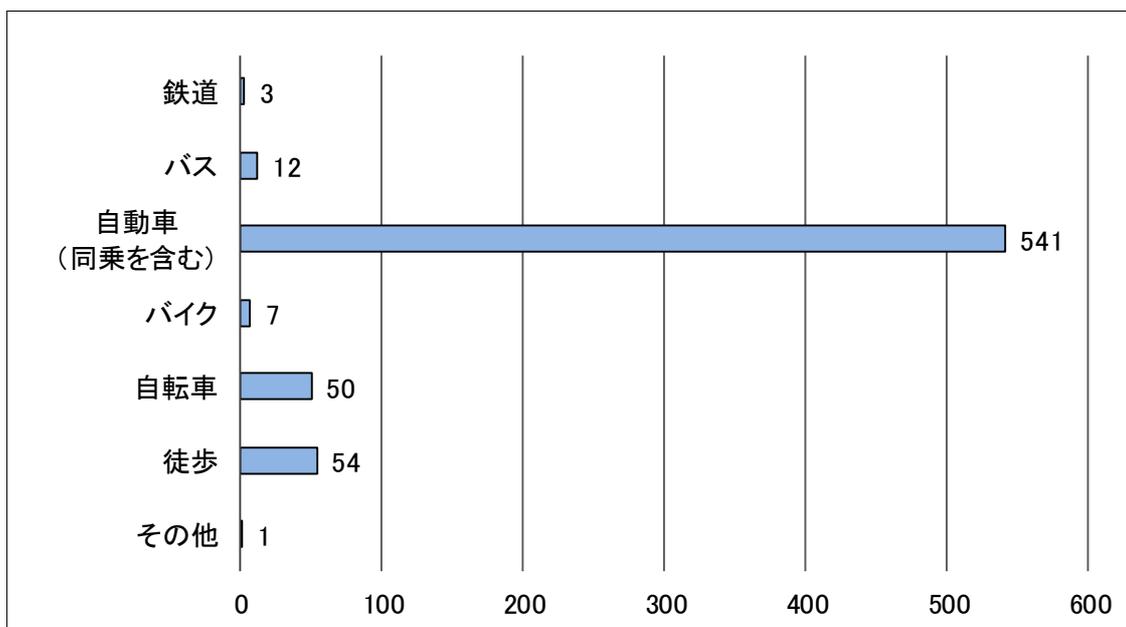
5) 主な交通手段（平日）について

・主な交通手段（平日）は、「自動車（同乗を含む）」が 493 人と最も多く、次いで「自転車」が 77 人となっている。



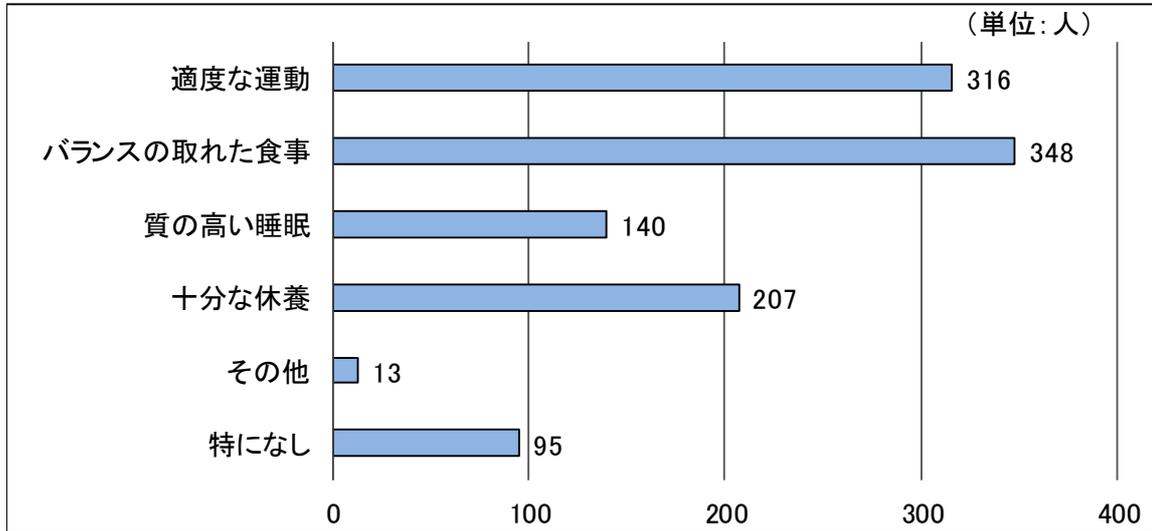
6) 主な交通手段（休日）について

・主な交通手段（休日）は、「自動車（同乗を含む）」が 541 人と最も多く、次いで「徒歩」が 54 人となっている。



【問2】健康のために心がけていることについて（※複数回答可）

・健康のために心がけていることは、「バランスの取れた食事」が348人と最も多く、次いで「適度な運動」が316人となっている。

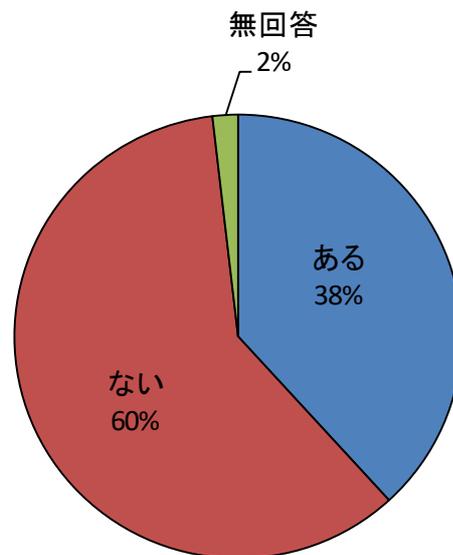


【問3】運動習慣について

・運動習慣については、「ある」が38%、「ない」が60%と半数以上となっている。

(単位:人)

選択項目	人数
ある	230
ない	361
無回答	11
計	602

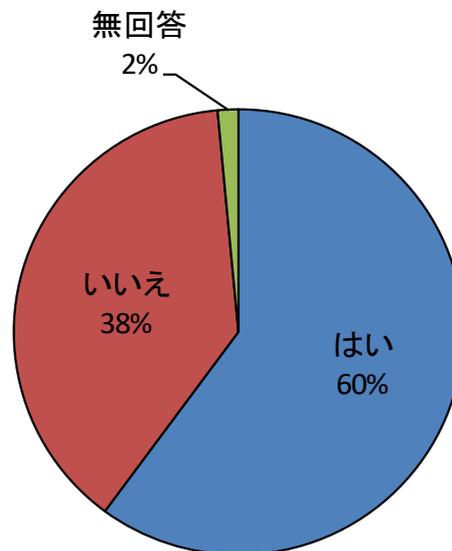


【問16】 ウォーキングの実施状況について

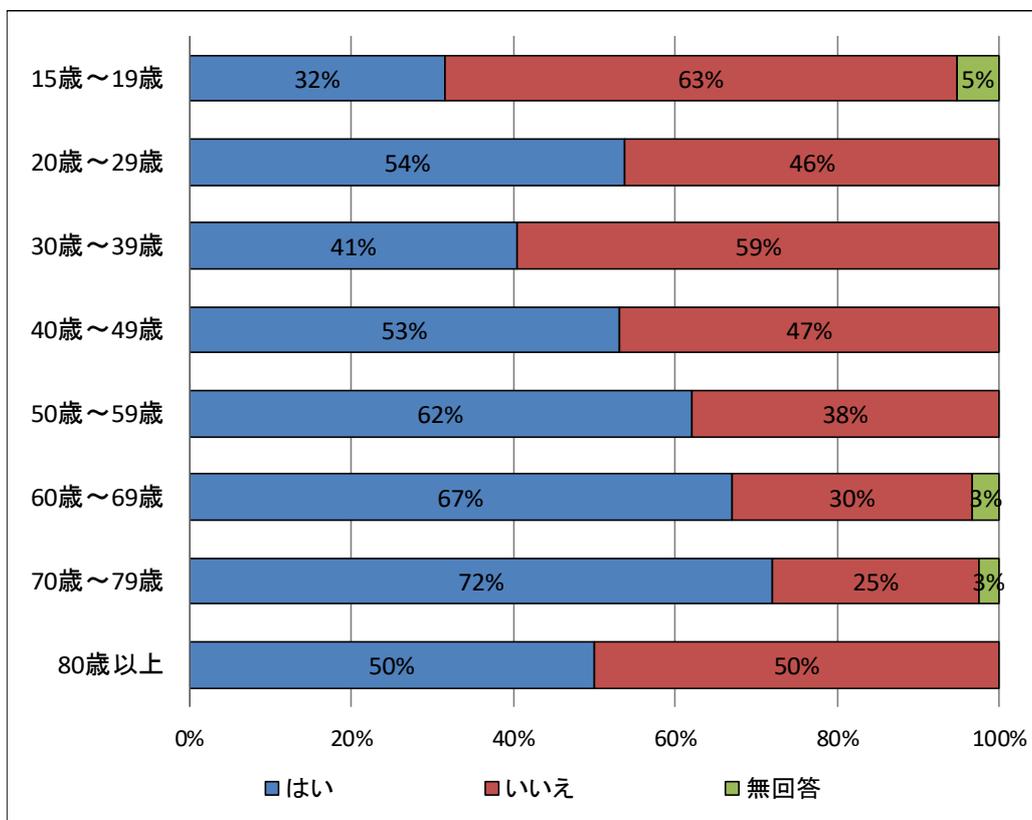
・ウォーキングの実施状況について、「はい」が 60%、「いいえ」が 38%となっている。

(単位:人)

選択項目	人数
はい	362
いいえ	231
無回答	9
計	602

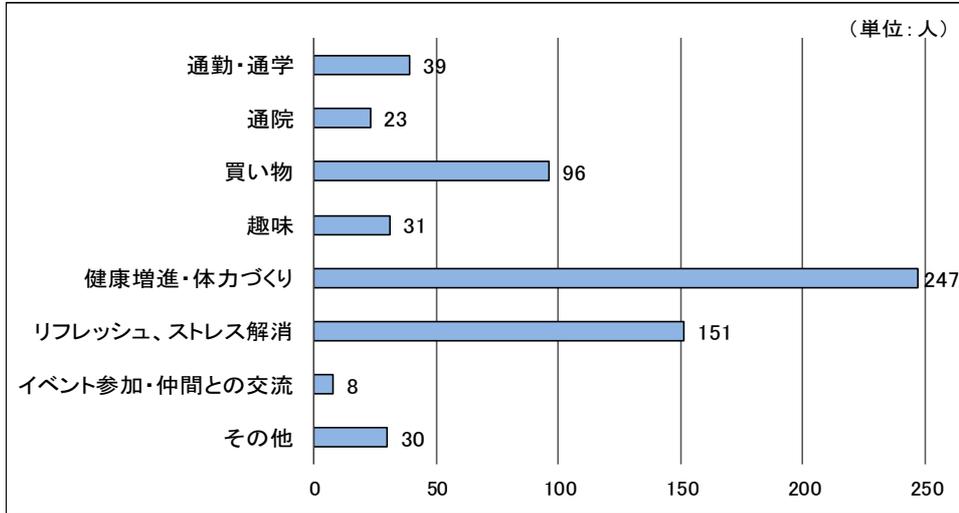


【年齢別×ウォーキングの実施状況】

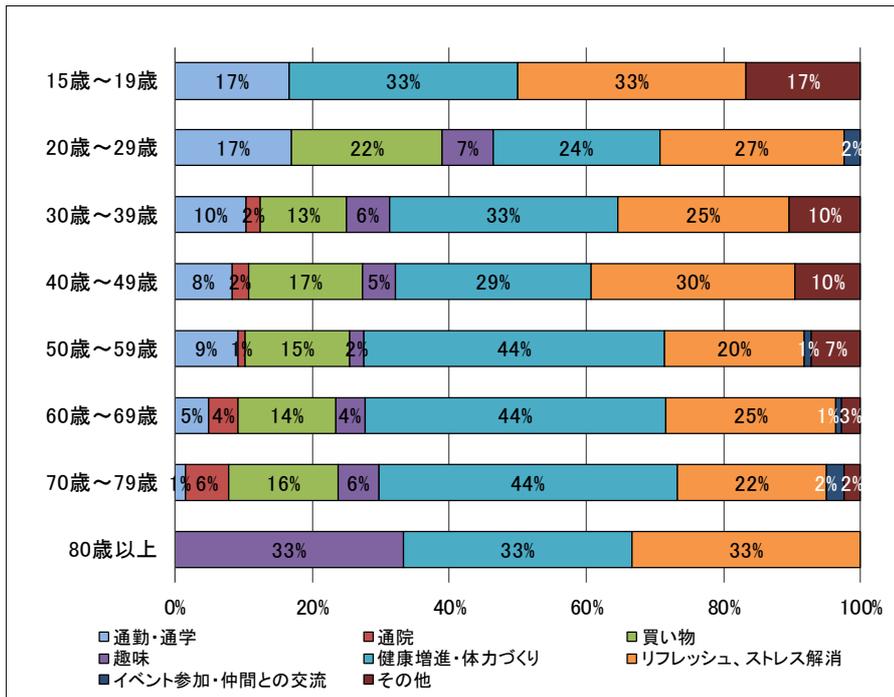


【問17】 歩く目的について（※複数回答可）

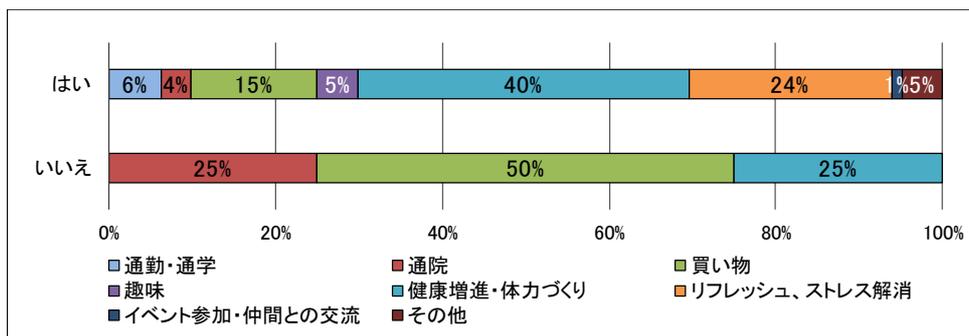
・歩く目的について、「健康増進・体力づくり」が 247 人と最も多く、次いで「リフレッシュ、ストレス解消」が 151 人となっている。



【年齢別 × 歩く目的】

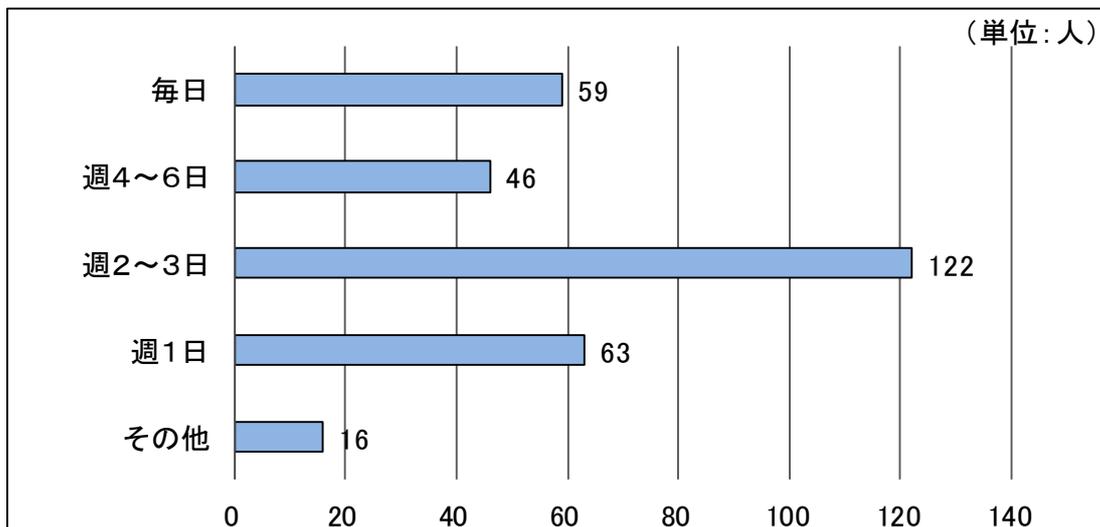


【ウォーキングの実施状況 × 歩く目的】



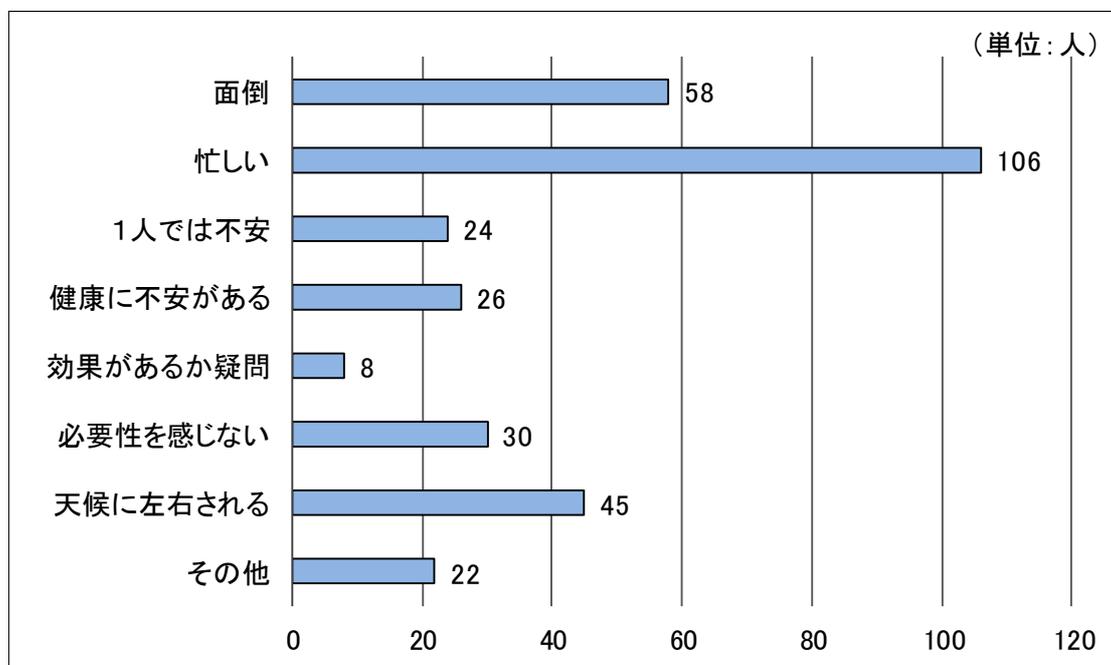
【問18】 歩く頻度について

・歩く頻度について、「週2～3日」が122人と最も多く、次いで「週1日」が63人となっているとなっている。



【問19】 ウォーキングしない理由について（※複数回答可）

・ウォーキングしない理由について、「忙しい」が106人と最も多く、次いで「面倒」が58人となっているとなっている。



【問16～問19の考察】

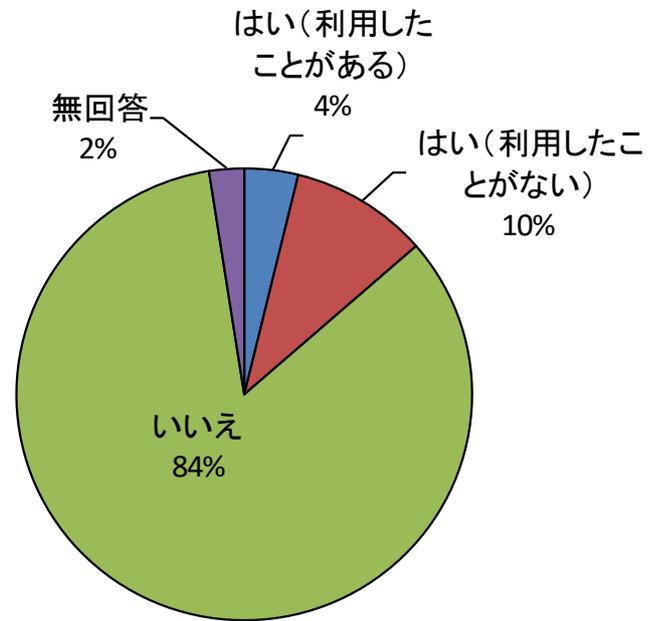
- ・年齢が高くなるにつれて、日頃から歩くことを意識している人が多く、全世代において、健康増進や体づくりのために歩いている人が多い。
- ・一方で、「面倒」「忙しい」といった理由から歩かない人も一定数いる。

【問20】ウォーキングコースの認知状況について

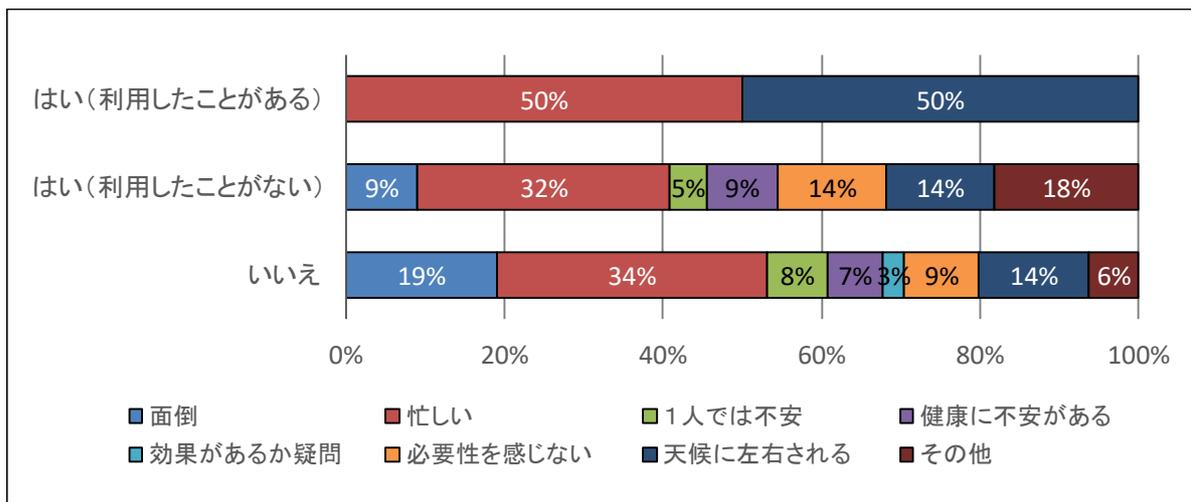
・ウォーキングコースの認知状況について、「はい(利用したことがない)」が10%、「いいえ」が84%となっている。

(単位:人)

選択項目	人数
はい(利用したことがある)	23
はい(利用したことがない)	59
いいえ	505
無回答	15
計	602

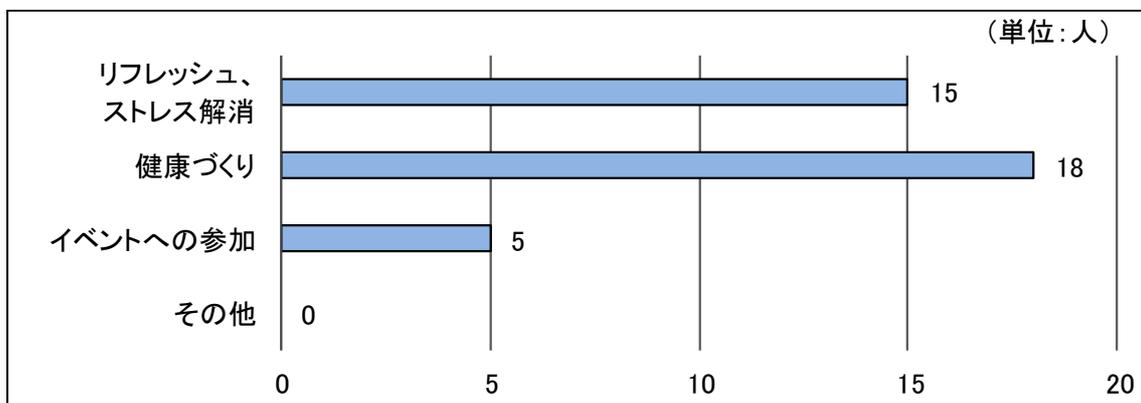


【ウォーキングコースの認知状況×ウォーキングしない理由】



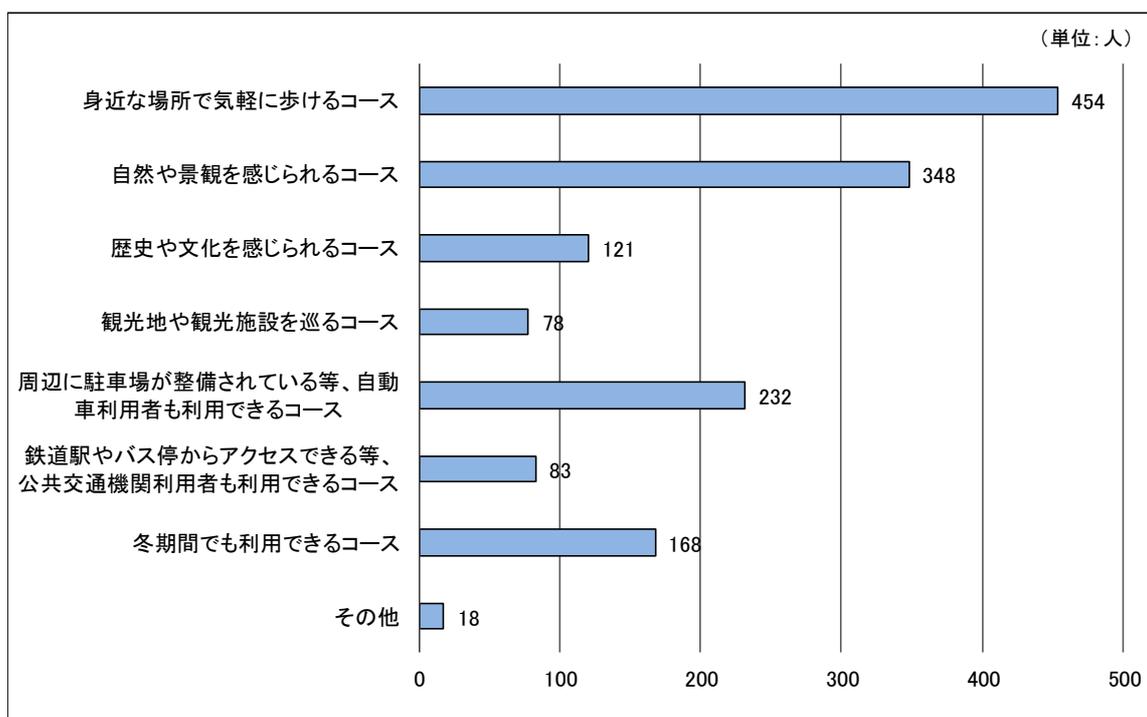
【問21】 ウォーキングコースの利用目的について（※複数回答可）

・ウォーキングコースの利用目的について、「健康づくり」が18人と最も多く、次いで「リフレッシュ、ストレス解消」が15人となっている。



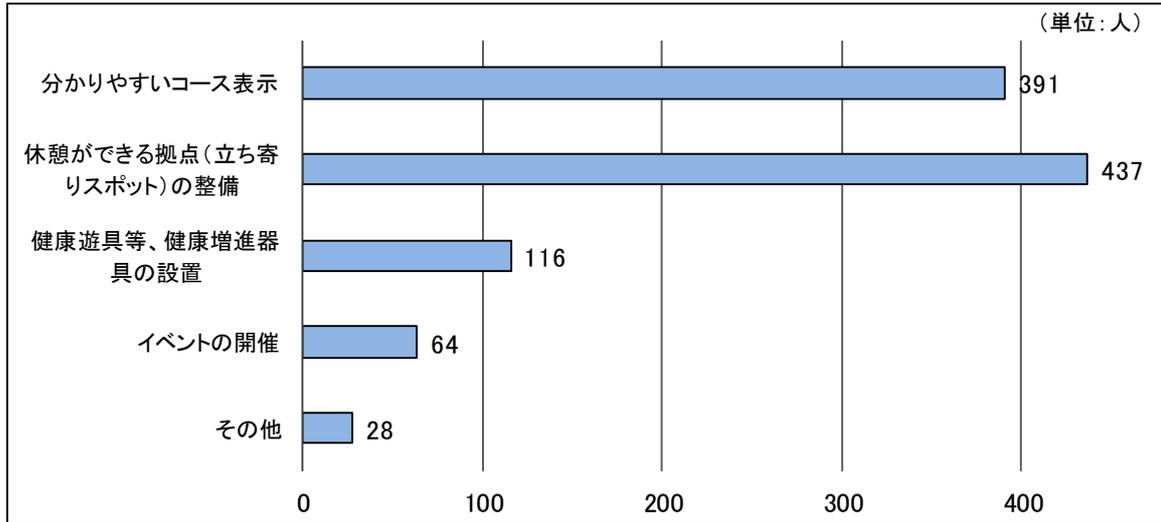
【問22 (1)】 ウォーキングコースの設定方針について（※複数回答可）

・ウォーキングコースの設定方針について、「身近な場所で気軽に歩けるコース」が454人と最も多く、次いで「自然や景観を感じられるコース」が348人となっている。



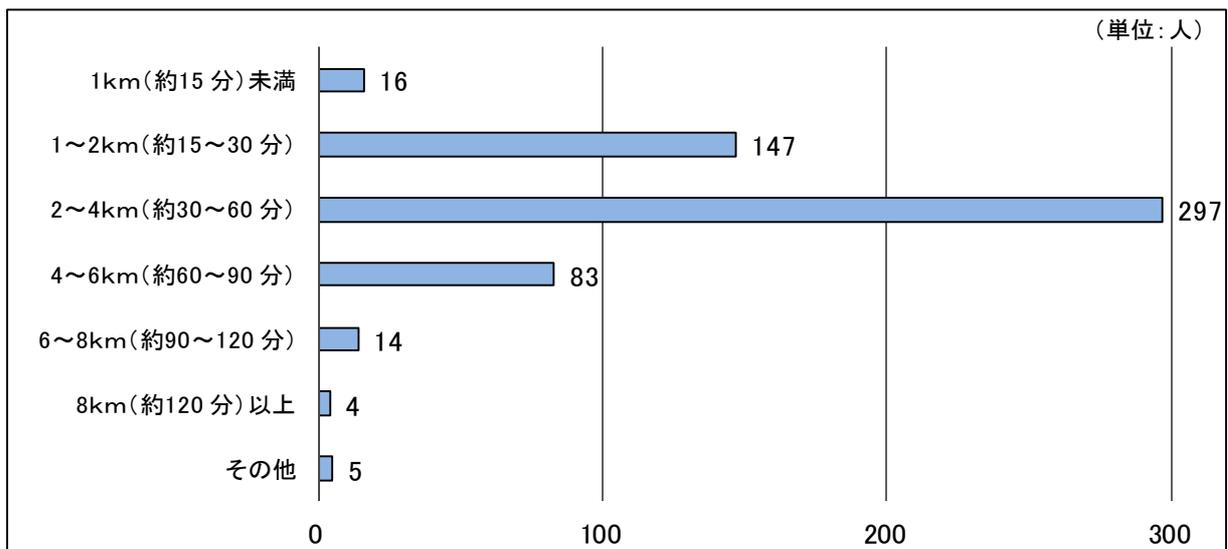
【問22 (2)】ウォーキングコースに必要な工夫について（※複数回答可）

・ウォーキングコースに必要な工夫について、「休憩ができる拠点(立ち寄りスポット)の整備」が437人と最も多く、次いで「分かりやすいコース表示」が391人となっている。



【問22 (3)】ウォーキングコースの距離について

・ウォーキングコースの距離について、「2～4km(約30～60分)」が300人と最も多く、次いで「1～2km(約15～30分)」が148人となっている。



【問20～問22の考察】

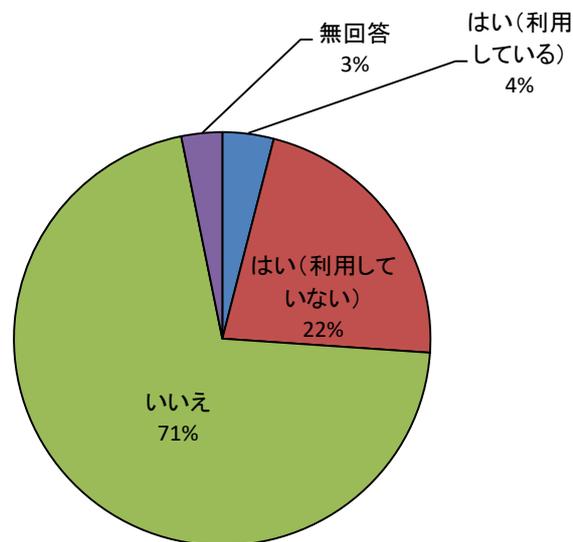
・ウォーキングコースの認知度は低く、利用も少ない状況である。多様なニーズへの対応や、案内サインや拠点整備といった配慮も求められる。

【問23】 SUKSKの認知状況について

・ SUKSK の認知状況について、「はい(利用していない)」が 22%、「いいえ」が 71%となっている。

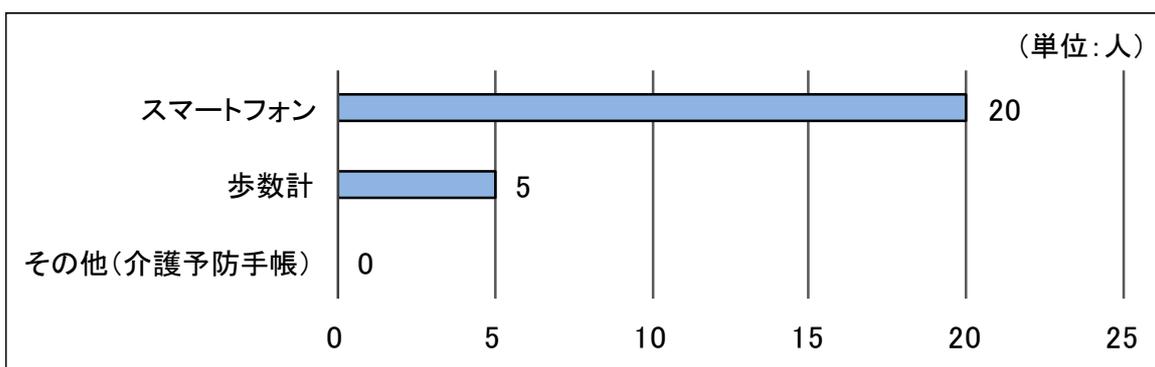
(単位:人)

選択項目	人数
はい(利用している)	24
はい(利用していない)	133
いいえ	426
無回答	19
計	602



【問24 (1)】 SUKSKへの参加方法について

・ SUKSK への参加方法について、「スマートフォン」が 20 人、「歩数計」が 5 人となっている。



3. 山形市ウォーキングロード及びサイクリングロード整備 計画策定検討会議構成員一覧

区分	氏名	所属	備考
学識経験者	高澤 由美	山形大学大学院 理工学研究科 助教	座長
関係団体	大嶋 民代	山形市健康づくり運動普及推進協議会 副会長	
	三澤 良次	山形市レクリエーション協会監事 山形走ろう会 会長	
	金森 智	ジャパンエコトラック推進協議会事務局 株式会社モンベル広報部課長	
	石井 環	山形県スケート連盟 事務局長	
交通事業者	日下 和利	東日本旅客鉄道株式会社 山形駅 副駅長	
	寒河江 晃一	山交バス株式会社 営業部 乗合課次長	
行政機関	舟山 太郎	国土交通省東北地方整備局	
	佐藤 寛之	山形河川国道事務所 交通対策課長	令和3年度より 舟山氏に代わり就任
	高宮 篤	山形県村山総合支庁	
	平山 直人	建設部 道路課課長	令和3年度より 高宮氏に代わり就任
	山村 浩志	山形警察署	
	渡辺 彰人	交通第一課長	令和3年度より 山村氏に代わり就任